

- 問1 紀伊国の阿氏河荘（あてがわのしょう）の百姓たちが、荘園領主に提出した「訴え状」の内容について述べた次の文のうち、当時の社会情勢を説明したものとして最も適切なものはどれですか。「この資料では、ある役職者が材木の納入を遅らせたり、百姓を私的に使役したりといった不正を働いている窮状が記されている。」（2023年 三重県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 各国に置かれた守護が、朝廷から派遣された国司と協力して、農民の生活を保護していた。 | 2. 朝廷が派遣した役人が、幕府の許可なく独自の税を課したため、武士と百姓が団結して抗議した。 | 3. 幕府から任命された地頭が、権力を背景に荘園領主の権利を侵し、農民への支配を強めていた。 | 4. 御家人が荘園領主の代理人として、年貢を公平に徴収し、地域の平和を維持していた。 |
|--|---|--|--|
- 問2 鎌倉幕府が地方支配の基盤として設置した「地頭」について、その設置場所と役割の組み合わせとして最も適切な説明を選びなさい。（2026年 広島県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 各藩の領地ごとに置かれ、大名の参勤交代の事務を担当した。 | 2. 国ごとに置かれ、国内の武士を動員して軍事や裁判を統括した。 | 3. 荘園や公領ごとに置かれ、現地の土地管理や年貢の徴収を行った。 | 4. 朝廷の各官署に置かれ、幕府との連絡調整や儀式の運営を行った。 |
|---------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
- 問3 13世紀後半、モンゴル帝国の第5代皇帝に即位し、都を大都（現在の北京）に移して、中国風の「元」という国号を定めた人物は誰か。（2024年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|------------|------------|---------|------------|
| 1. マルコ=ポーロ | 2. フビライ=ハン | 3. 北条時宗 | 4. チンギス=ハン |
|------------|------------|---------|------------|
- 問4 鎌倉時代の封建制度の根本となった「御恩と奉公」の仕組みにおいて、御家人が命をかけて「戦いに参加」した背景には、将軍から与えられた「御恩」という強い動機がありました。この「御恩」の具体的な仕組みについて説明したものとして、正しいものはどれですか。（2019年 山形県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 全国の武士を統制するために、一国ごとに守護を任命する権利を全ての武士に与えること | 2. 先祖伝来の領地の支配を認めたり、戦功に応じて新しい領地を与えたりすること | 3. 自分の領地で行われる商業活動に対して、幕府が一切の税を免除して自由貿易を認めること | 4. 朝廷から高い位階である関白の職に任命してもらえるよう、将軍が仲介すること |
|---|---|--|---|
- 問5 1221年に起こった承久の乱の後、鎌倉幕府の支配が西日本まで拡大したことを背景として、武士社会の慣習や道徳を基準に1232年に制定された、日本最初の武家法律を何といいますか。（2024年 佐賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|----------|-----------|----------------|
| 1. 建武式目 | 2. 武家諸法度 | 3. 十七条の憲法 | 4. 御成敗式目（貞永式目） |
|---------|----------|-----------|----------------|
- 問6 御成敗式目（貞永式目）の性質やその後の影響について述べた文として、正しいものはどれですか。（2019年 山口県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 朝廷が支配する京都や荘園領主の領内を含め、日本全土に強制的に適用される法律であった。 | 2. 裁判の迅速化を図るために、8代将軍の徳川吉宗が判例をまとめたものである。 | 3. 武士だけでなく、農民や商人といった平民すべての生活規定を細かく定めたものである。 | 4. 中国の律令を模倣したものではなく、わが国独自の武士の道理や慣習に基づいた内容であった。 |
|---|---|---|--|
- 問7 鎌倉時代に広まった新しい仏教に関する記述のうち、栄西や道元によって伝えられた宗派（禅宗）の特徴や影響について述べたものとして正しいものはどれかを選びなさい。（2017年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 臨済宗や曹洞宗が含まれ、その精神は後の水墨画や茶の湯といった日本文化の形成にも大きな影響を与えた。 | 2. 日蓮によって開かれ、社会の混乱を鎮めるために題目を唱えることを重視し、他宗派を厳しく批判した。 | 3. 一遍によって広められ、踊りながら念仏を唱えることで、多くの庶民の心を捉えた。 | 4. 親鸞によって開かれ、自分の罪を自覚した者こそが救われるという「悪人正機」の考えを説いた。 |
|--|--|---|---|
- 問8 鎌倉時代の武士の生活を描いた資料には、地頭などの武士が自らの館の周辺にある田畑を農民に耕作させながら、日常的に武芸の訓練に励み、戦いに備えている様子が記されています。このように地頭が現地で実質的な支配を強めていった場所の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2026年 千葉県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|----------|----------|-----------|
| 1. 問注所・政所 | 2. 国衙・郡衙 | 3. 荘園・公領 | 4. 守護所・御所 |
|-----------|----------|----------|-----------|
- 問9 1221年、鎌倉幕府の三代将軍である源実朝が暗殺された後の政治的混乱に乗じ、幕府を倒して朝廷の権力を取り戻そうと兵を挙げた人物として正しい人名を選びなさい。（2022年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|----------|----------|---------|
| 1. 後鳥羽上皇 | 2. 後白河法皇 | 3. 後醍醐天皇 | 4. 白河上皇 |
|----------|----------|----------|---------|
- 問10 1221年の承久の乱に際し、北条政子は御家人たちを前に、亡き源頼朝が幕府を開いて以来の「恩」を説いて団結を促しました。このとき、政子が御家人たちに再確認させた、将軍から受けた恩恵の内容として正しいものはどれですか。（2020年 長野県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------------|----------------------------|------------------------------|--------------------------|
| 1. 官位を授けられ、土地の所有を保証されたこと | 2. 苗字を名乗ることや、刀を差すことを許されたこと | 3. 全国の関所を自由に通るための通行証を与えられたこと | 4. 重い税を免除され、経済的な支援を受けたこと |
|--------------------------|----------------------------|------------------------------|--------------------------|
- 問11 鎌倉幕府が出した永仁の徳政令の内容において、御家人以外の武士や庶民が御家人から買い取った領地の扱いを正しく説明したものはどれですか。当時の法令の記述内容に基づき選びなさい。（2017年 静岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 幕府が土地の代金を肩代わりして支払うことで、元の持ち主である御家人に土地を返還させる | 2. 御家人が土地を取り戻すためには、売却時の代金に利息を加えた金額を買い手に支払わなければならない | 3. 売買されてからの年数に関係なく、買い手は無償で元の持ち主である御家人に土地を返さなければならない | 4. 土地が売買されてから20年以上が経過している場合に限り、買い手の所有権が継続して認められる |
|---|--|---|--|
- 問12 後醍醐天皇が鎌倉幕府を倒した後に始めた「建武の新政」について、その政治の実態と歴史的背景を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2025年 東京都公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 幕府を倒した功績により足利尊氏を征夷大将軍に任命し、武士の権利を全面的に認める強力な武家政治を確立した。 | 2. 律令制度を完全に復活させるため、全国の土地を公地公民とし、班田収授法に基づく税制を再び実施した。 | 3. 仏教の力で国家の安定を図るため、全国に国分寺を建立し、東大寺の大仏造営を通じて天皇の権威を高めた。 | 4. 天皇が中心となって公家を重用する政治を行ったが、恩賞の不公平さなどから武士の不満が高まり、わずか数年で崩壊した。 |
|---|---|--|---|
- 問13 1221年に起こった承久の乱の後、鎌倉幕府が京都の六波羅に設置し、朝廷の監視や西日本の統治、裁判などを担当させた機関の名称を選びなさい。（2016年 茨城県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|----------|----------|--------|
| 1. 鎮西探題 | 2. 六波羅探題 | 3. 京都所司代 | 4. 問注所 |
|---------|----------|----------|--------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 幕府から任命された地頭が、権力を背景に荘園領主の権利を侵し、農民への支配を強めていた。	阿氏河荘の百姓による訴え状は、地頭の横暴な振る舞いを具体的に示す貴重な資料です。鎌倉時代、現地の実権を握った地頭は、本来の職務を超えて荘園領主への年貢を滞らせたり、農民を不当に働かせたりすることが多く、各地で荘園領主や農民との紛争が絶えませんでした。
問2	答え 3 荘園や公領ごとに置かれ、現地の土地管理や年貢の徴収を行った。	地頭は、貴族や寺社が所有していた「荘園」や、公的な土地である「公領」ごとに配置されました。彼らの主な任務は、現地の土地を管理し、領主に代わって年貢を徴収することでした。この仕組みを通じて、幕府は全国の土地に直接的な影響力を及ぼすようになり、武家政権の経済的な基盤を確立しました。国ごとに置かれた軍事担当者は守護であり、藩は江戸時代の制度であるため混同しないよう注意が必要です。
問3	答え 2 フビライ=ハン	モンゴル帝国の創始者であるチンギス=ハンの孫にあたります。中国全土を支配し、国号を元と定めて帝国を拡大させました。日本に対しても服属を求める使節を送りましたが、鎌倉幕府がこれを拒否したため、二度にわたる蒙古襲来（元寇）を指揮することとなりました。
問4	答え 2 先祖伝来の領地の支配を認めたり、戦功に応じて新しい領地を与えたりすること	将軍と御家人の関係は、互いの利益に基づく双務的な側面がありました。御家人が「奉公」として重い軍役を果たす最大の理由は、将軍から「御恩」を受け、自身の生活基盤である土地の支配権を確実なものにする必要があったからです。具体的には、もともと所領していた土地の支配を認めてもらう「本領安堵（ほんりょうあんど）」と、手柄を立てた際に新しい土地の地頭に任命してもらう「新恩給与（しんおんきゅうよ）」の2つが主な内容でした。守護の任命は幕府の地方統治の仕組みであり、個々の御家人に与えられる「御恩」の定義とは異なります。
問5	答え 4 御成敗式目（貞永式目）	承久の乱の結果、幕府の権力が全国に及ぶようになり、武士同士や地頭と荘園領主との間で土地をめぐる紛争が急増しました。執権の北条泰時は、これまでの貴族向けの法律（律令）ではなく、武士が納得できる公平な裁判の基準を設けるために、この法律を制定しました。
問6	答え 4 中国の律令を模倣したものではなく、わが国独自の武士の道徳や慣習に基づいた内容であった。	それまでの日本の法律は中国の律令をモデルにした「公家法」が主流でしたが、御成敗式目は武士社会の現実（道徳や慣習）を基準に作られました。当初の適用範囲は幕府の支配下にある御家人やその所領に限られていましたが、その優れた内容から、のちの室町幕府や戦国大名の分国法にも大きな影響を与えました。
問7	答え 1 臨済宗や曹洞宗が含まれ、その精神は後の水墨画や茶の湯といった日本文化の形成にも大きな影響を与えた。	禅宗には、幕府の保護を受けて都市部で発展した臨済宗と、地方の武士や民衆に広がった曹洞宗があります。禅の精神は宗教の枠を超え、室町時代以降の水墨画、枯山水の庭園、茶の湯など、簡素で深みのある「わび・さび」に通じる日本独自の文化を形作る重要な要素となりました。他の選択肢は浄土真宗、時宗、日蓮宗の説明です。
問8	答え 3 荘園・公領	地頭は、貴族や寺社の領地である「荘園」と、国司が支配する「公領」の両方に配置されました。地頭となった武士たちは、現地で年貢の徴収を請け負う過程で、次第に土地そのものを実質的に支配する力を強めていきました。設問にある「農民を指揮する姿」や「武芸の訓練」は、地方に定着し、武装して土地を守る開発領主としての武士の性格をよく表しています。
問9	答え 1 後鳥羽上皇	源氏の正統が途絶えたことを好機と捉えた朝廷側が挙兵しましたが、北条政子が御家人たちに対し、初代将軍・源頼朝以来の「御恩」を説いて団結を促したことで、幕府側が圧倒的な勝利を収めました。敗れた上皇は隠岐島（島根県）へ流されることとなりました。
問10	答え 1 官位を授けられ、土地の所有を保証されたこと	承久の乱の際、北条政子は「亡き頼朝公が朝廷の敵を倒して幕府を開いて以来、官位や土地などの恩恵を受けたその恩は、山よりも高く、海よりも深い」と御家人たちに訴えかけました。この言葉は、将軍が御家人の領地支配を認め、社会的地位（官位）を保証してきた「御恩」の重要性を説いたもので、動揺していた御家人たちが幕府側として戦う決意を固める大きな要因となりました。
問11	答え 3 売買されてからの年数に関係なく、買い手は無償で元の持ち主である御家人に土地を返さなければならない	永仁の徳政令では、御家人が売却した領地について、買い手が御家人の場合は「売却から20年未満」であれば返還対象とされましたが、買い手が御家人以外（武士や庶民）の場合は、売却してからの期間に関わらず無条件で返還することが命じられました。このような強力な措置は、かえって金融の停滞を招き、御家人が借金できなくなるという逆効果を生みしました。
問12	答え 4 天皇が中心となって公家を重用する政治を行ったが、恩賞の不公平さなどから武士の不満が高まり、わずか数年で崩壊した。	後醍醐天皇が目指した政治は、それまでの武家政治を否定し、天皇が直接統治を行う古い理想の復活でした。しかし、土地の所有権をめぐる裁判の混乱や、倒幕に功績のあった武士への恩賞が不十分であったこと、さらに急進的な改革や重税が人々の不満を招きました。その結果、有力な武士であった足利尊氏の離反を招き、南北朝時代へと移行するきっかけとなりました。
問13	答え 2 六波羅探題	承久の乱で後鳥羽上皇を中心とする朝廷側が敗北したことを受け、鎌倉幕府は朝廷の動きを常に警戒する必要があると考えました。そこで、京都の六波羅という地に、朝廷の監視や西日本に残る武士たちの統制を行うための出先機関を設置しました。江戸時代に京都の警備や朝廷監視を行った「京都所司代」と名称が似ているため、時代の区別に注意が必要です。